

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

25年12月18日

都道府県知事
(市長) 殿

提出者
住所 日田市大字小野 770の木 2935-8
氏名 黒木 敏之
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	黒木 牧場
事業場の所在地	日田市大字小野 770の木 2935-8
計画期間	25年4月1日 - 26年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	01 畜産 農業
②事業の規模	乳牛 103 頭
③従業員数	3人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿 ① 自ら堆肥化 動物の死体 化成場へ委託



(日本工業規格JIS A 2114番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

場長 (廃棄物統括責任者)

廃棄物処理方針の決定
廃棄物処理に関する各種事項の決定手配

事務員 処理計画の作成
販買


産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (24 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物ふん尿	動物の死体
	排出量	2042 t	4 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物ふん尿	動物の死体
	排出量	2042 t	4 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度 (24 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿 	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,700 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化 戻し堆肥としてのふん尿の混入		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,700 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化、 せどし堆肥としての調整剤として入りの節約		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度 (24 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	342 t	t
(これまでに実施した取組) なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物ふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	342 t	t
(今後実施する予定の取組) なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 24 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		動物の死体
	全処理委託量	t	4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 動物の死体は化製場に委託して処理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	4 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) 同じ化製場に委託して処理			
※事務処理欄			